

『理化学辞典』

増補改訂版, 1939, 岩波書店 (編集主任: 石原純)

本書「理化学辞典」は、岩波書店の科学普及事業の一つとして、岩波講座「物理学及び化学」、雑誌「科学」の出版に続いて企画されました。これらすべての編集主任を務めたのが元・東北帝国大学教授で、日本の理論物理学の基礎を築いたと言われる石原純氏でした。

「理化学辞典」の編集方針は、物理・化学にとどまらず近接する他分野の基本事項もわかるものにする事で、理系全般をカバーした辞書は当時世界的にも画期的なものでした。英語だけでなく、ドイツ語、フランス語の対応もついており、アメリカの多くの大学で海賊版が所蔵されていたと言われています。

[参考: 「科学ジャーナリズムの先駆者 評伝石原純」 西尾成子著, 岩波書店, 2011]



石原純 (1881-1947) 写真は東北大学史料館写真 DB より

物理学者。歌人。1921年、妻子を持つ身ながら歌人・原阿佐緒と「恋愛事件」を起こし、東北帝大を辞職。以後は岩波書店「科学」の編集主任を務めるなど、科学ジャーナリズム活動を行い、その言説は後にノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎氏や湯川秀樹氏らに大きな影響を与えた。1945年12月に交通事故で重傷を負い、約1年後に死去した。